

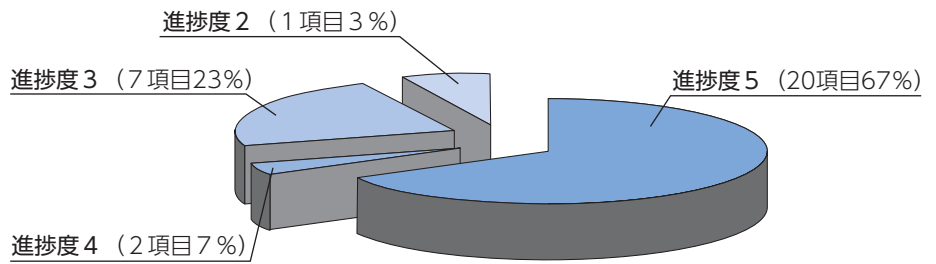
市長公約の取り組み状況（概要）

【詳細】 政策推進課 032-6039

岩倉市長は、2期目の市長選挙において、5つの基本政策を柱とする30項目にわたる市長公約を掲げました。これらの公約は市民の皆さんとのお約束であり、任期中に達成すべきものとして政策に盛り込んでいます。政策推進課では、昨年度に続き、市長公約の進捗度を独自の判断基準で5段階評価しており、その主な内容を市民の皆さんにお知らせします。

市長公約の進捗度

平成24年度までの取り組みに対しては、30項目の公約のうち20項目、全体の67%を進捗度5としました。平成23年度（15項目で50%）に比べ、17%上昇と評価しました。



公約の進捗状況（24年度まで）

※進捗度は5を100%とした指標。進捗度1は該当なし

平成24年度に実施した取り組み内容の一部を紹介します！

1 文化芸術の振興に取り組みました

本年7月に予定している苦小牧市美術博物館の開館に向け、博物館の増改築工事を行いました。



2 企業の支援に取り組みました

商店街の活性化に関する条例を制定し、普及啓発と商店街の取り組みに対するバックアップに努めました。また、産業や経済の発展、市民生活の向上に寄与することを目的とした中小企業振興条例を制定しました。



3 子育て支援に取り組みました

科学センターやすべてのコミュニティセンターなどの公共施設に、安心して授乳やおむつ交換ができる赤ちゃんの駅を開設しました。



4 高齢者福祉に取り組みました

高齢者が介護支援ボランティア活動を通じて社会貢献することで、自分の介護予防にも繋がる、介護支援いきいきポイント事業を実施しました。



5 苦小牧のPRに取り組みました

静川遺跡などを巡る文化財再発見ツアーを開催しました。また、本紙に平成19年8月号から22年10月号に掲載された苦小牧再発見シリーズを冊子にしました。



詳細は、HPで公表しているほか、市役所2階情報コーナー、勇払・のぞみ出張所、各コミセン、植苗ファミリーセンター、中央図書館でご覧になれます。また、希望の方には郵送しますので、政策推進課までご連絡ください。



053大作戦は6月29日のプラザまつりをファイナルとして終了しますが、みなさんと共に歩む「ゼロごみのまち・苦小牧」へのチャレンジはここからがスタートです。このまちの未来を決めるごみ問題について、一緒に考えていただきたいと思います。

ごみの問題は、全市民にかかわる事柄でありながら、多様化したライフスタイルに伴い、百人いれば百通りのごみの取組方法があります。市では、見て分かりやすいようにイラストを使った「クリーンとまこまい」を全戸配布し、前回より2倍以上ページを増やし充実させました。

ごみ行政は、ごみだけの問題ではなく、ごみを通じた苦小牧市ならではの「まちづくりへの思い」が色濃く反映する事業です。今回のクリーンとまこまいには、紙のまちとしての紙分別開始、安心した一人暮らしのためのふれあい収集制度、地域・団体の活動を支援するボランティア清掃への助成、地元にあるエコ企業の紹介など、あらゆる対象の方へ伝えたい思いとともに、まちぐるみのチャレンジについて掲載しました。

053大作戦「ステージ3」も今月で最後となりました。市民周知のため昨年4月から説明会を開催し、約1万6千人※の方に参加していただき、まちぐるみでの意識の高まりを感じております。

※5月20日現在の数字

実践躬行

苦小牧市長 岩倉博文

市長コラム